

プラチナ社会の実現に向けて

～プラチナ森林産業イニシアティブの動きを中心に～

2023年2月14日

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク

事務局長 平石 和昭

プラチナ構想ネットワークの活動

どうやって社会実装を進めるか

プラチナ森林産業イニシアティブ

プラチナ構想ネットワークの活動

● 会長は「小宮山宏」

- 第28代東京大学総長
- 三菱総合研究所理事長

● 目的は「プラチナ構想の具現化」

- 新たな社会づくりの方向を示す
- 課題解決先進国・日本として世界にモデルを示す

● 会員は「207の自治体、137の法人」

- いずれもトップ（首長、経営トップ）で実際に活動に参加
 - さらに5名の社会実装推進会員と62名の個人会員（有識者）が活動をサポート
- ※会員数は2023年2月現在



● 21世紀の新たな課題を克服し、「課題解決先進国」へ

【21世紀の新たな課題】

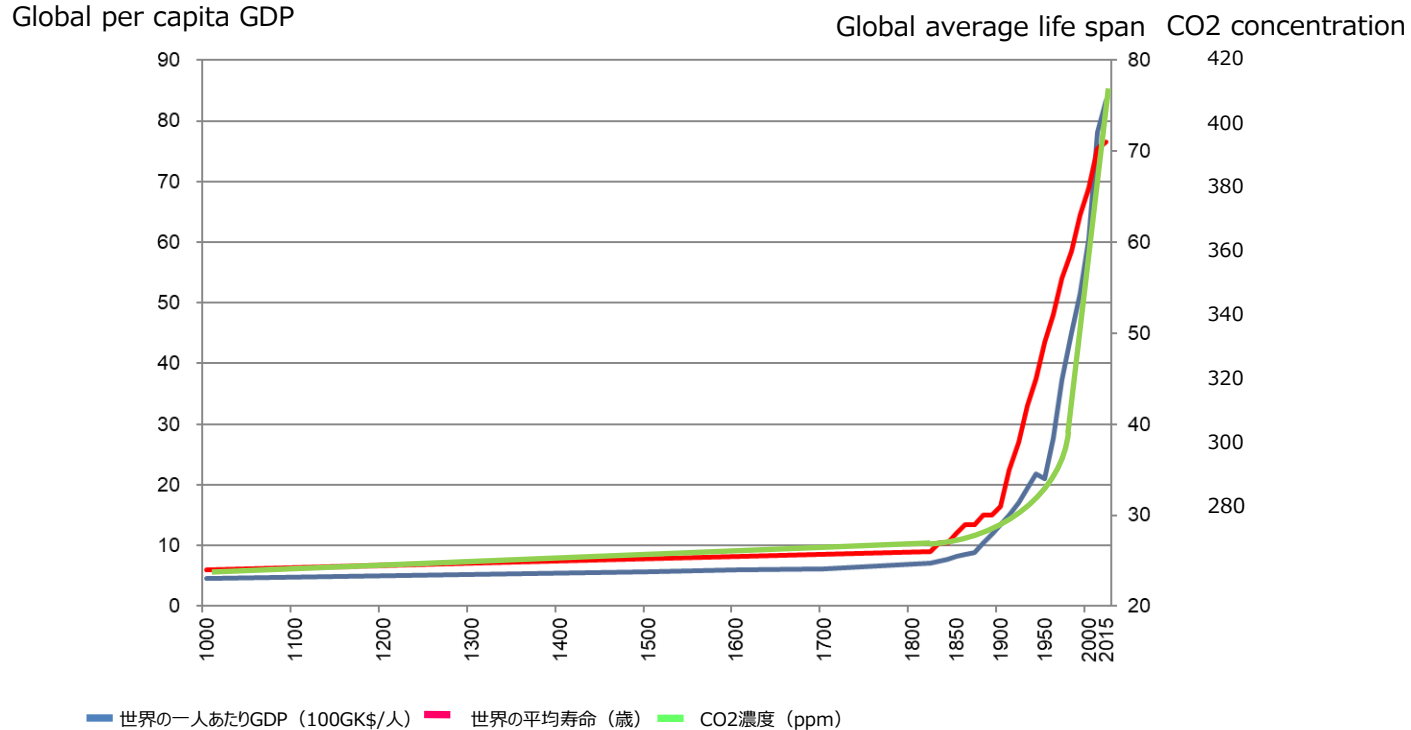
- ✓ **有限な資源**
(産業革命の飽和)
- ✓ **モノは充足 (住居、自動車等)**
(量的飽和)
- ✓ **世界一の長寿、高齢化**
(寿命の飽和)
- ✓ **東京一極集中**
(地方の疲弊)



【解決の方向】

- **資源自給国家**
(省エネ、創エネ、都市鉱山、完全循環社会)
- **新たな産業、新たな需要の創出**
(創造型需要)
- **質の高い長寿**
(QOL、健康寿命延伸)
- **地方創生**
(第1次産業、再エネ、観光)

地球・社会・人間の持続



■ 世界の一人あたりGDP (100G\$/人) ■ 世界の平均寿命 (歳) ■ CO2濃度 (ppm)

1人あたりGDP・平均寿命：Angus Maddison、CO2濃度：NOAA

出所：新ビジョン2050 小宮山宏・山田興一著、日経BP社

「プラチナ社会」は5つの要素の実現を目指す

地球が持続し、豊かで
すべての人の自己実現を
可能にする社会

資源の心配がなく

エネルギー効率の向上、
再生可能エネルギー活用、
物質循環システムの構築

心もモノも豊かで

文化・芸術に彩られた暮らし、
飽和・停滞を打破する「限界を超えた成長」

エコロジーで

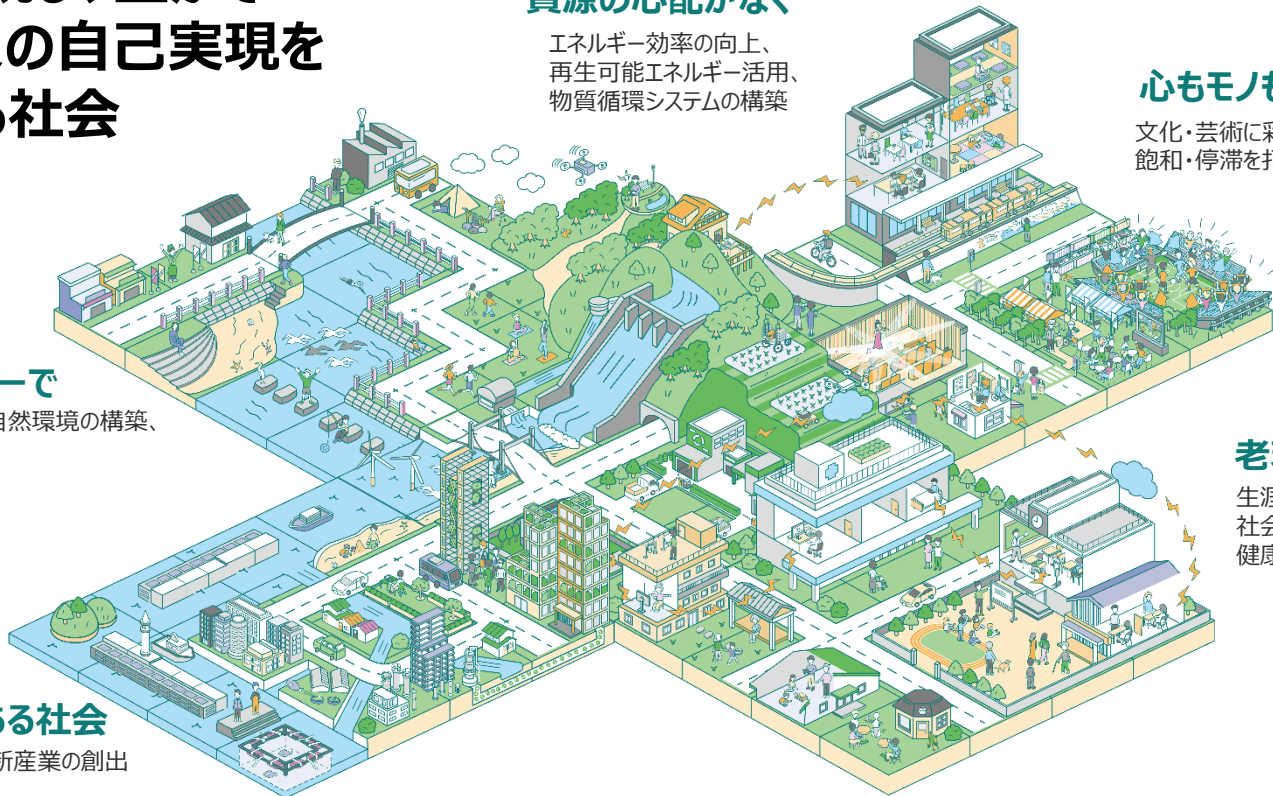
人間にとって快適な自然環境の構築、
環境との調和・共存

雇用がある社会

イノベーションによる新産業の創出

老若男女が全員で

生涯を通じた成長、
社会参加の機会創造、
健康で安心して加齢できる社会



活動の全体像：3つの活動フェーズ

理念の 形成と普及

- プラチナ懇談会（会長を交えた意見交換、計115回開催）
- プラチナ大賞（優れた取組を表彰して情報化、10回開催）
- プラチナシンポジウム（今年は「地域脱炭素」で開催）
- プラチナTV（YouTubeを活用した当会の活動紹介）



人財育成

- プラチナ構想スクール（自治体職員の課題解決力養成塾、250人が卒業）
- プラチナ未来人財育成塾（中学生対象の未来人財育成、670人が卒業）
- プラチナ未来スクール（小学生へのロボット・プログラミング塾、980人が卒業）
- プラチナ保健師スクール（保健師指導で生活習慣病を改善に貢献）



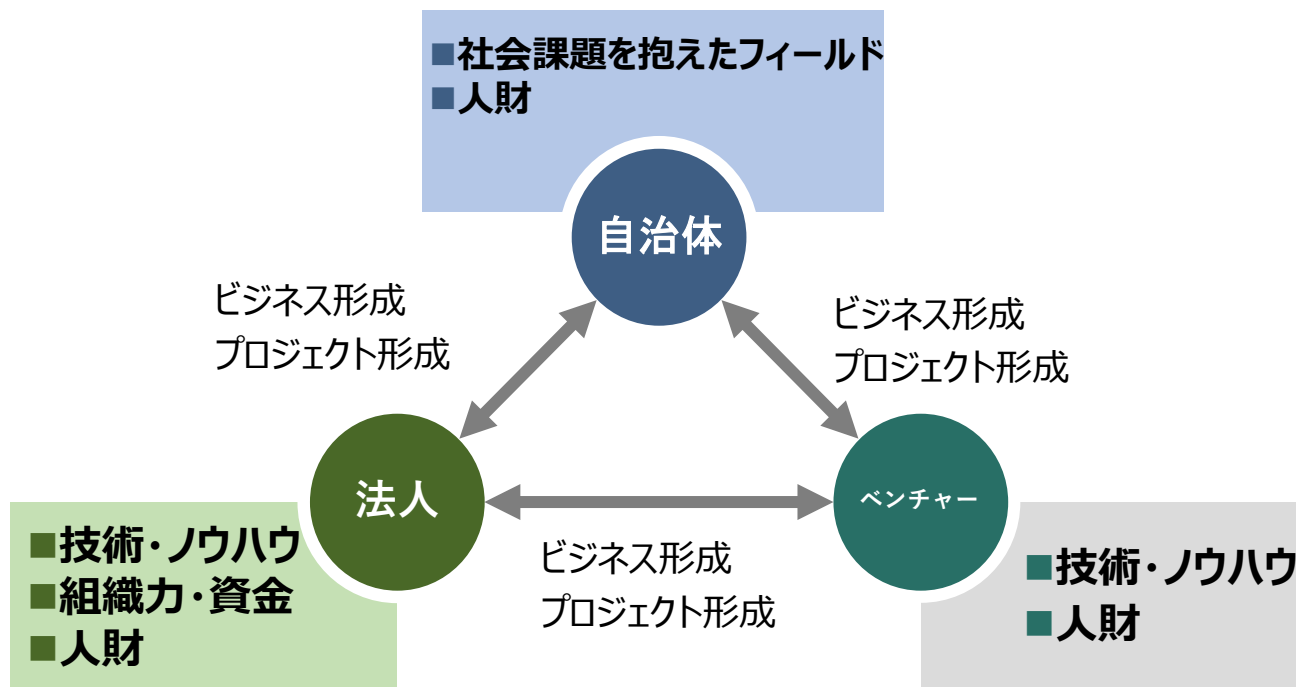
社会実装

- プラチナ会員連携支援プロジェクト（自治体×企業で社会実装、30件成立）
- 社会実装アクセラレータ（優れた取組のマッチングプラットフォーム）
- ワーキング・イニシアティブ（水素社会、産業観光、**森林産業**、サーキュラーエコノミー）
- 特定地域でのプロジェクト組成（北いわて、長野、秋田ほか）

どうやって社会実装を進めるか

1. 会員相互をつないでコトを興す（会員連携支援事業）

- 48の提案→150件のマッチング活動→**40件がマッチング成立**
- **特定テーマ型**も展開を開始（例：地域脱炭素）



社会実装テーマへの自治体の関心



自治体首長会員（202団体）のうち、
101自治体から回答を得た

テーマ設定型（地域脱炭素） 会員連携支援

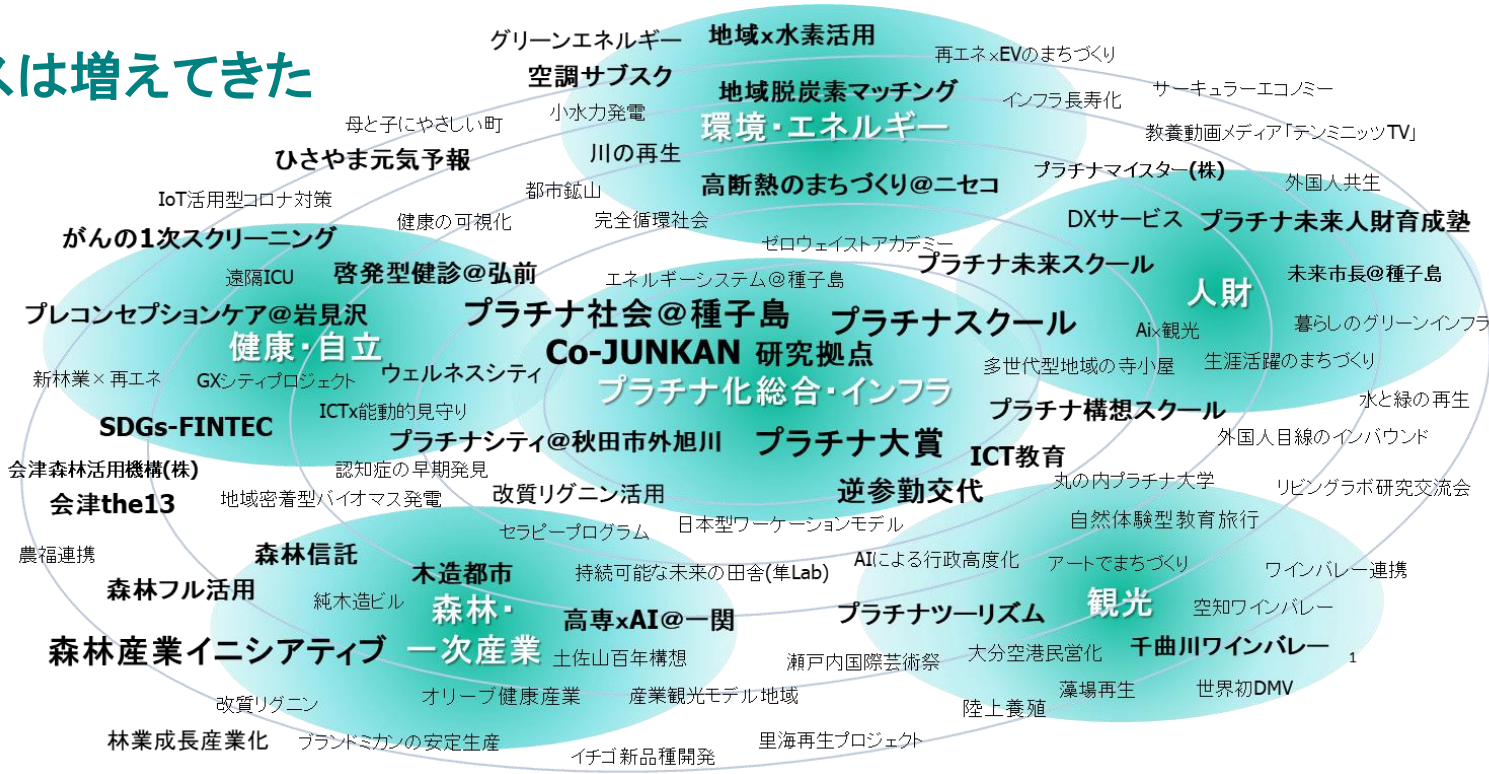
提案者	テーマ
みやまパワーHD	地域づくりに貢献する地域脱炭素の取組み
アイ・グリッド・ソリューションズ	CO2排出量可視化から削減実行まで統合的な脱炭素支援「GXソリューション」
アイ・グリッド・ソリューションズ	地域循環型の太陽光PPAモデルによる地域脱炭素・再エネ地産地消・レジリエンス向上
アイ・グリッド・ソリューションズ	地域循環共生圏をプロデュースする人材育成プログラム
ダイキン工業	既存物件のZEB化を実現するリース活用型ZEB提案
ダイキン工業	第三者所有方式による空調機器導入
ダイキン工業	マイクロ水力発電による財源確保や災害対応手法
東京センチュリー	公共施設等への第三者所有モデルを活用した導入促進

テーマ設定型（地域脱炭素） 会員連携支援

提案者	テーマ
東京センチュリー	EVをリユースして製造したソーラー街路灯により、地域の脱炭素化とサーキュラーエコノミーに貢献
アクシス	企業と自治体の使用電力やCO2 排出量を可視化・追跡し、脱炭素とESG 経営を促進するクラウド型サービス
古山通久 氏	地域資源を活用した水素の合理的社会実装
WELLNEST HOME	省エネ建築設計を活用した地域脱炭素モデル街区の街づくり
ダイセキ環境ソリューション	住民から回収した廃食油で発電し、電気自動車のコミュニティカーを運行
ニチハ	脱炭素に資するための建物・都市の木質化と環境貢献の見える化
USD	NFT（非代替性暗号資産）を活用し、寄付金でゼロカーボンシティを
染めQテクノロジー	補強工法で再生延命、長寿命化（廃材を出さない= CO2排出削減）
小豆島ヘルシーランド	オリーブ産業の育成による脱炭素の取り組み

2. 大きく仕掛けてコトを興す (産業イニシアティブ活動)

ピースは増えてきた



インパクトがあり出来ることを相乘的に進める

森林産業に続く次の産業イニシアティブは？

● 第一次産業＋エネルギー産業

- ✓ソーラーシェアリング（農業＋太陽光）
- ✓漁業＋風力 …

● 健康・自立産業

- ✓健康寿命延伸（生活習慣病、認知症）、少子化対策
- ✓弘前大学COI、久山コホート、北海道大学COI …

● 人材養成産業

- ✓アクティブラーニング×多世代交流
- ✓逆参勤交代（社員養成）…



プラチナ懇談会(2019年4月) から始動

- 知事、副知事、市長、関係企業トップ参加で「北いわて」の地方創生を議論
- 具体的なアクションを提案（キープレーヤーを特定）し、社会実装へ



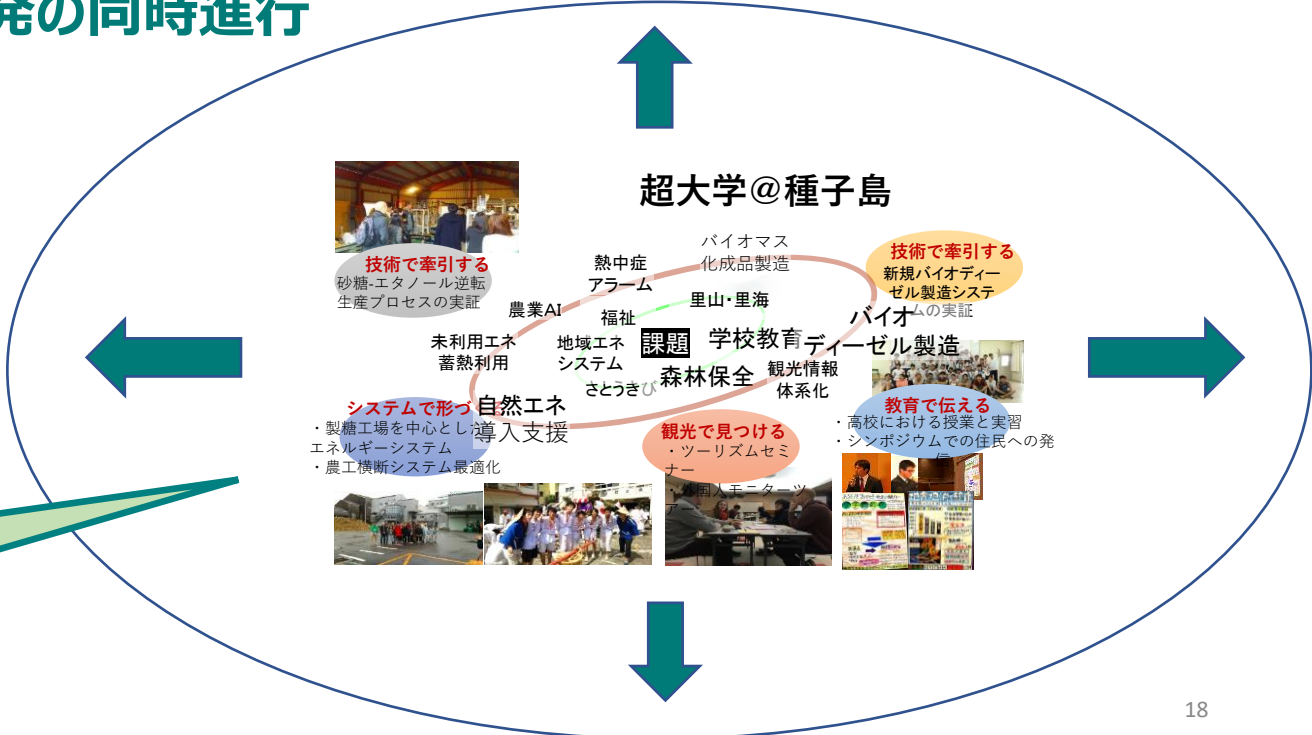
- **高専（一関高専）でのAI人材育成**
- **岩手県をフィールドとしたMaaSの展開**
- **林業（上流～中流～下流に至る一気通貫の商流実現）**
- **スマート農業による農産物競争力強化**

- 人財・知財・IT総動員による近代一次産業の創成
- 豊富な再生可能エネルギー資源を生かす
- 健康・自立の先進地域とする
- 人を呼び込む（観光、逆参勤交代）
- 大学や高専の力を生かす＝「超大学」

超大学@種子島から Co-JUNKANへ

東大菊池准教授中心のCOI-NEXT 社会実装と方法論開発の同時進行

北いわて



小水力発電で自立したまちづくり

- 地域住民が地域づくり株式会社を設立
- 総事業費5,900万円（政策金融公庫から8割借り入れ）
- 利益100万円でみんなが元気に

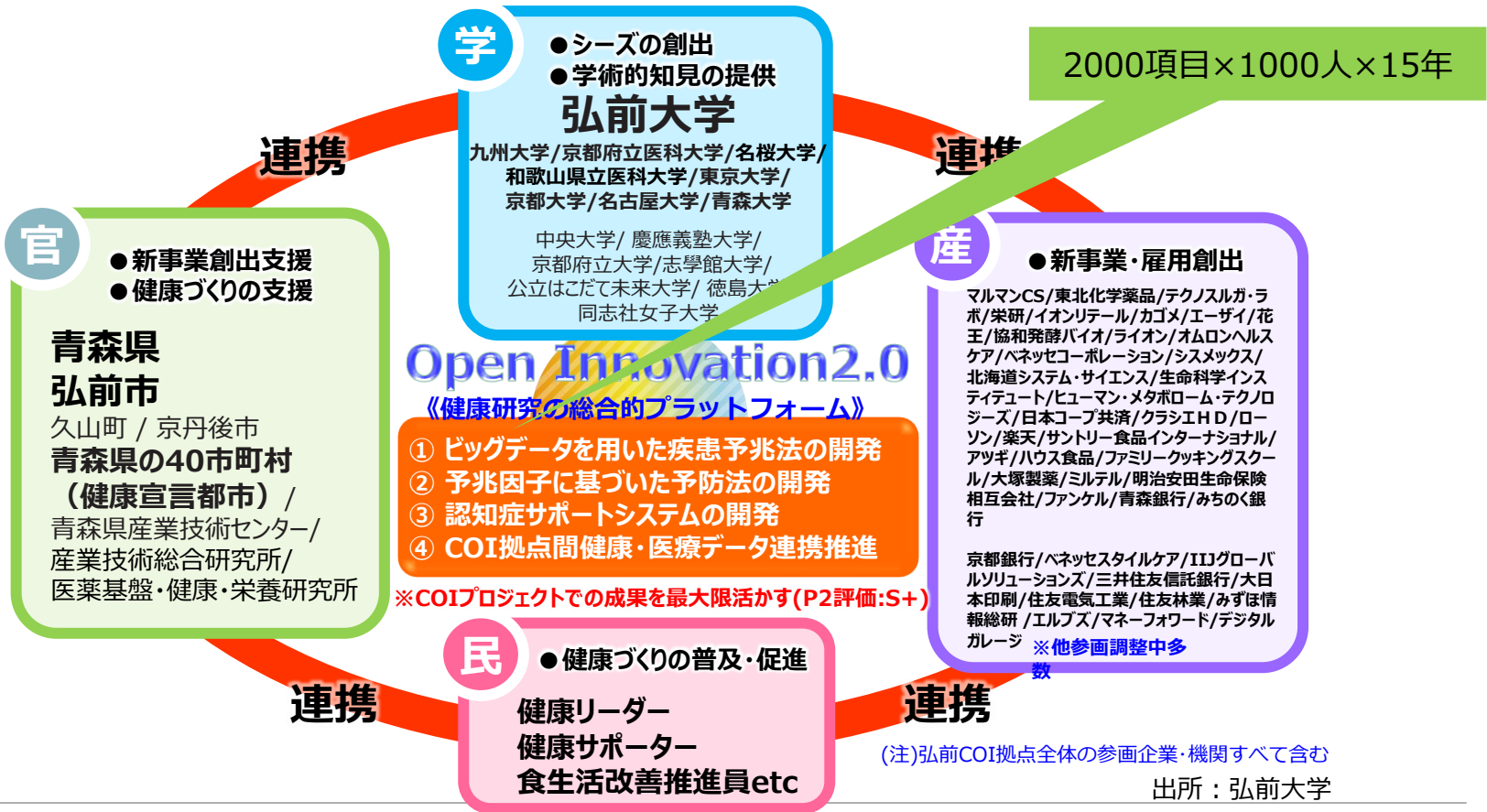


出所：松隈地域づくり株式会社



誰ひとり取り残さない 地域づくりを目指して

弘前大学COI 「健康ビッグデータで短命県返上」



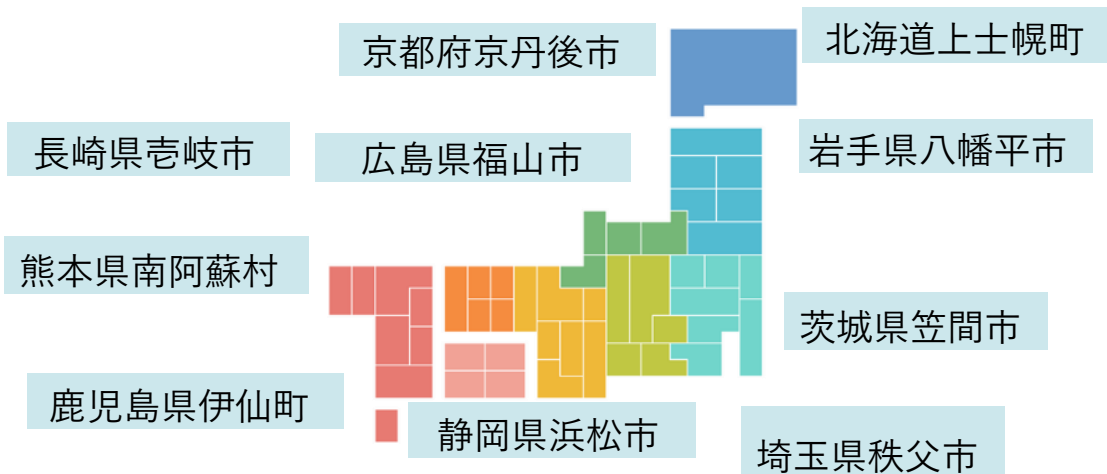
「逆参勤交代」でヒトを呼び込む

- 地方創生と働き方改革の同時実現
- 好事例：北海道上士幌町とアクサ生命保険の大野氏（SGDs推進アドバイザー）



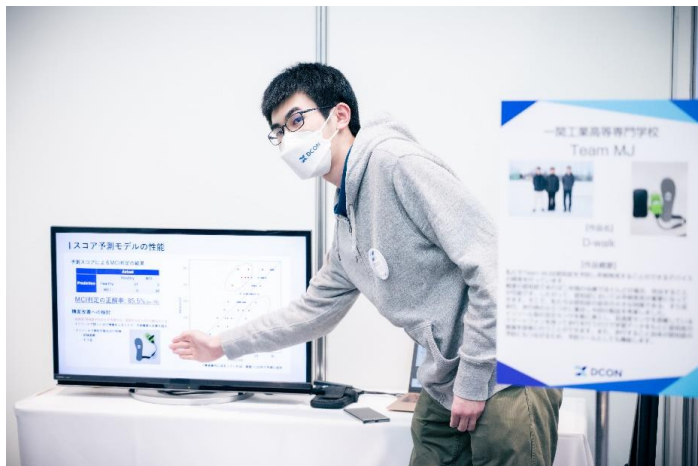
左・竹中 貢氏(北海道上士幌町長)／右・大野雅人氏(アクサ生命保険)

写真：エコツェリア協会・丸の内プラチナ大学
<http://www.ecozzeria.jp/events/platinum/>



● 学生を社会課題解決の戦力としよう

AI時代を引っ張る高専生
「高専生は日本の宝」(松尾豊教授)



一関高専グループ
2022ディーコンで優勝



圧力センサー靴×AIで
認知症予防と早期発見

写真：日本ディープラーニング協会

プラチナ森林産業イニシアティブ

2050年より前に常識が変わる

- 石油や鉄鉱石は資源なのか？
- 日本は資源がない国か？
- バイオマスはマイナーな資源か？
- 日本は急傾斜で林業に向かないのか？
- 加工貿易は今の日本の正しい戦略か？

山林は日本のバイオマス資源



大規模化・機械化・情報化



年1億トン以上のバイオマス

観光・再エネと同時振興

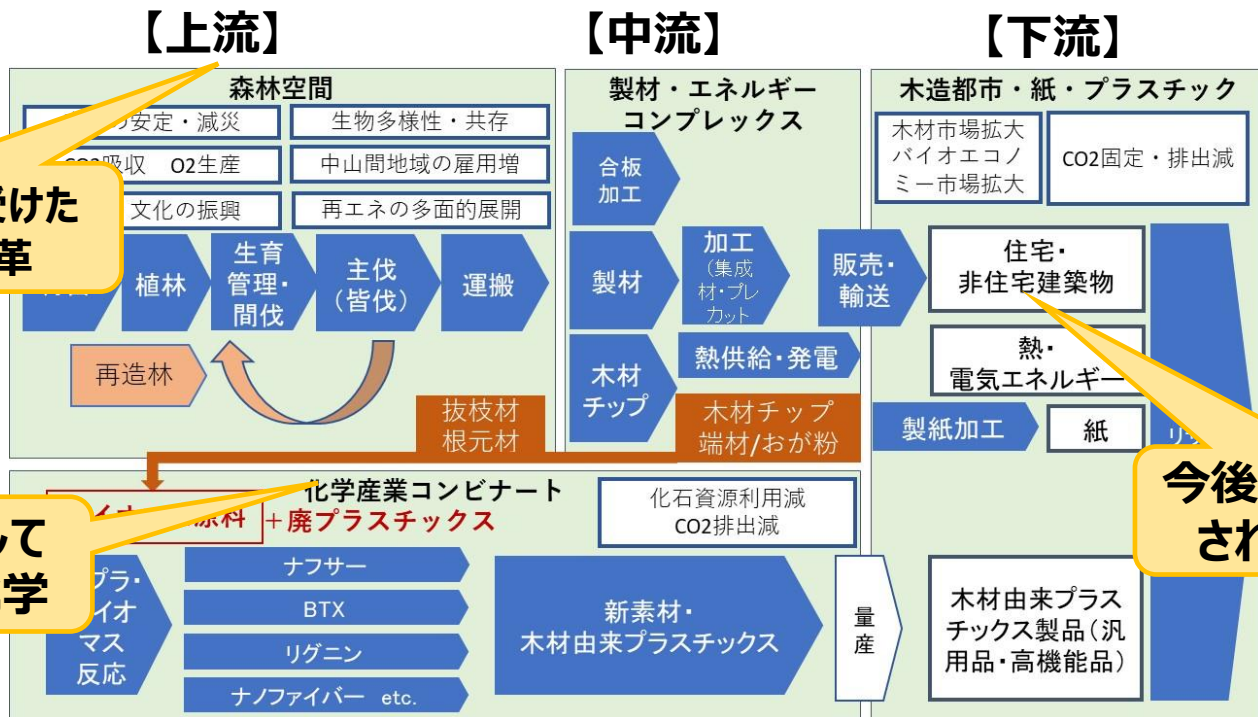
5兆円50万人の産業と雇用

国土の均衡ある発展

森林面積率 × 温暖多雨 × 戦後植林のストック

動き出した「プラチナ森林産業イニシアティブ」

- 脱炭素化 + 経済安全保障強化 + 経済構造改革 + 地方創生 + 森林文化の醸成
- 50団体（企業、自治体）が参加



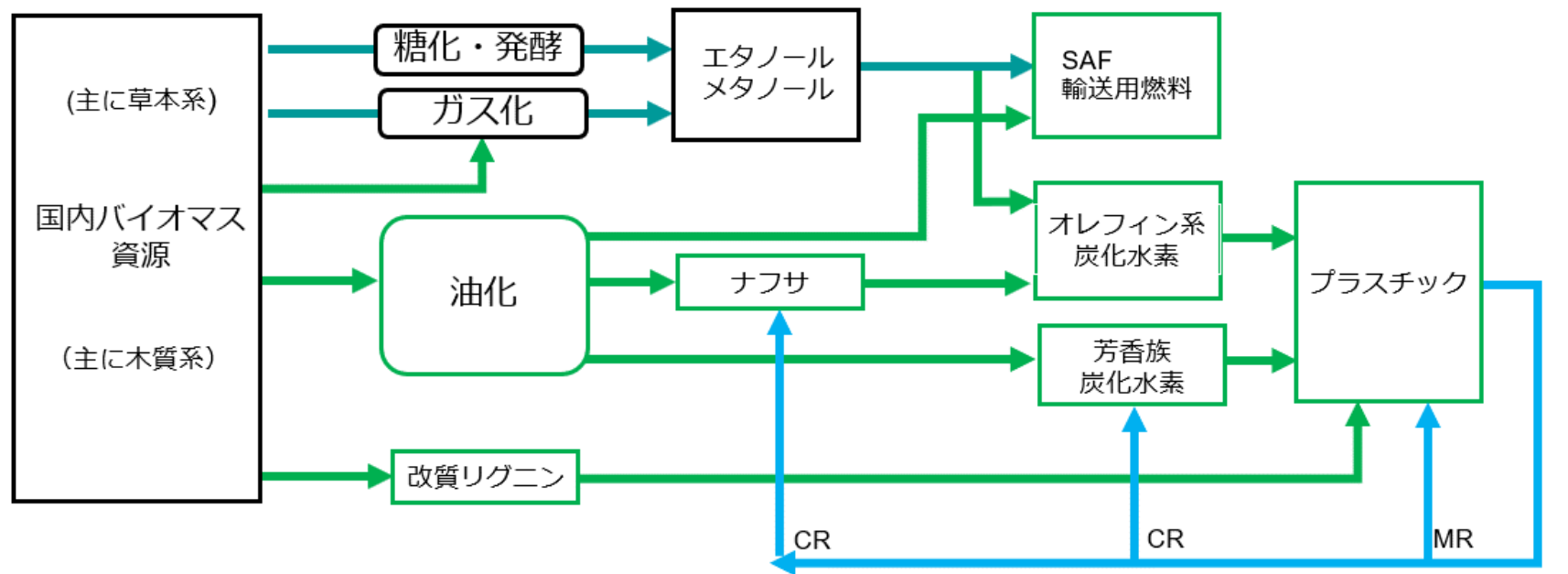
需要の拡大を受けた
森林・林業改革

新たな需要として
のバイオマス化学

今後の展開が期待
される木造都市

化成品製造の将来像

バイオマス資源活用による化学品製造の将来像



→ バイオマス系によるフロー
→ リサイクルフロー

「木造都市」づくりの意義

「第二の森林」を形成し、森林グランドサイクルの実現に貢献する

【ポイント】

- ・建築物への炭素の固定→第二の森林
- ・伐採跡地は「主伐→再造林」で持続可能に
- ・第一の森林の維持・成長 + 第二の森林の全国展開

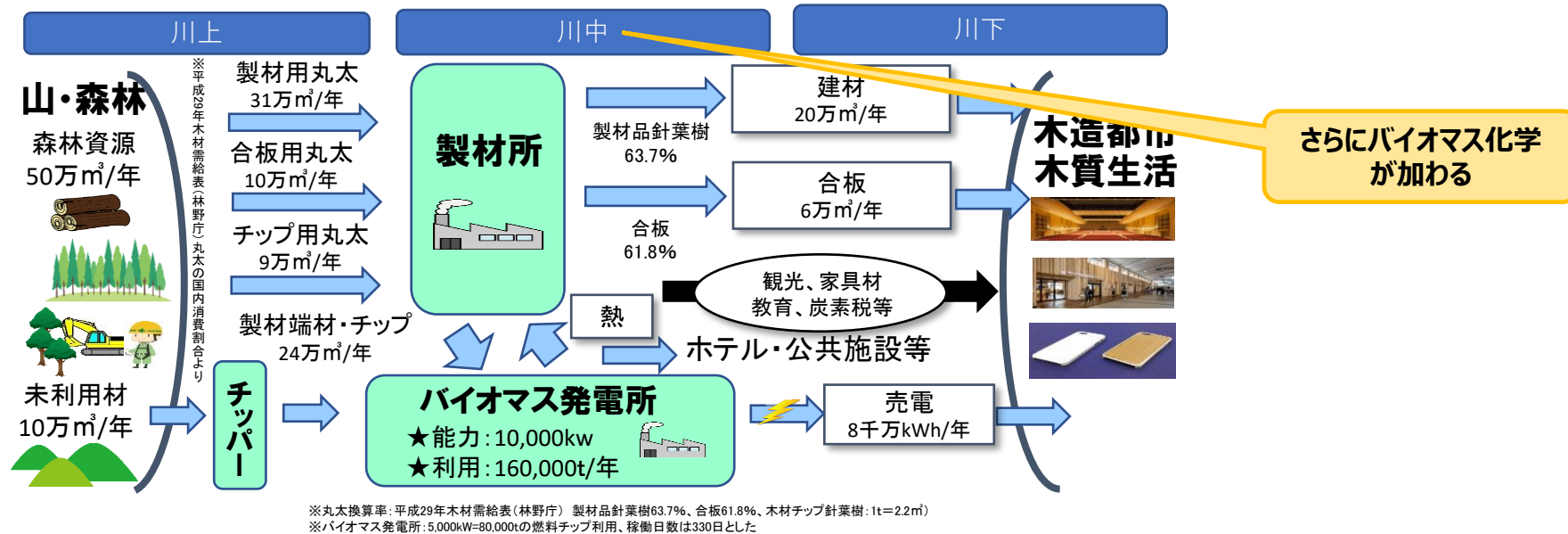
【論点】

- ・サイクルを強調する（鉄やコンクリートとの違い）
- ・まちへのCO₂固定を数字で把握する
- ・競合する建築物のCO₂固定効果も考慮（例：コンクリート製造時のCO₂固定など）
- ・供用終了後の廃材リサイクルをどのように想定するか



10年後の林業ビジネスの基本形（年間50万m³）

●行政区域を超えた広域連携で年間50万m³を達成する



出所：政府統計を基にプラチナ構想ネットワークでモデル化

**「百人の有識者よりも一人の実践者」
で共創しましょう**

一般社団法人プラチナ構想ネットワーク 事務局

〒100-8141 東京都千代田区永田町2-10-3

東急キャピトルタワー9階

電話：03-6858-3546

E-mail：jimuinfo@platinum-network.jp

URL：<https://www.platinum-network.jp>